第2期行財政改革プログラム　個別取組工程表

所管	財政	局	財政	部	財政	課
項目	2-6	補助金、単独扶助、負担金等の見直し				
実施内容	社会情勢や市民ニーズの変化等を踏まえ、事業の必要性、効果・公益性等の観点から、予算編成などの機会を捉えて定期的に見直しを行います。					
目標	社会情勢や市民ニーズの変化を踏まえた補助金、単独扶助、負担金等の適正化 （平成28年度追記）					

工程		26年度	27年度	28年度	29年度
	当初予定	←→	予算編成の中で見直しを実施		←→
	進捗状況 （実績・見込）	←→ 平成27年度当初予算編成において、補助金の廃止や削減を実施	←→ 平成28年度当初予算編成において、補助金の廃止や削減を実施	←→ 平成29年度当初予算編成において、補助金の廃止や削減を実施	←→ 予算編成の中で見直しを実施

数値目標		26年度	27年度	28年度	29年度
－	見込	－	－	－	－
	実績	－	－	－	－

実績	29年度	・財政局長通知「平成30年度の予算編成について」（平成29年10年25日財政第758号）において、予算編成の中で必要性や効果等の観点から見直しを行うよう各局に通知 ・財政課においても予算編成過程の中で見直しを実施

単年度の効果額見込及び実績		26年度	27年度	28年度	29年度
	見込	－	－	－	－
	実績	257 百万円	191 百万円	56 百万円	50 百万円

評価	29年度	B	課題	社会情勢の変化に対応した制度見直しを進めるとともに、補助金等に対するニーズの把握、補助効果の検証などを常に行う必要がある。
			改善策	予算編成過程だけでなく、予算の執行管理など、様々な機会を通じて見直しを行っていく。

評価基準	A:目標を上回って達成　B:目標を概ね達成　C:未達成
備考	